

貸切バス利用・弾丸下見会 富士山スペシャル！ 2024

～ 富士山と周辺、箱根への移動 ～（東京集合・小田原解散）

2024年9月25日(水)

アンコールのリクエストにお応えして、昨年7月に引き続き、夏季ならではのスバルライン・五合目と富士山周辺のスポットの「弾丸」下見会を実施しました。参加者32名(正会員22名、賛助会員1名、非会員9名)と正会員の案内役2名(渡邊靖・伊藤淳子)の34名で貸切バスに乗り込み、曇り・小雨・晴れなど色々なお天気での富士山ツアーを体験しました。



07:50と朝早い集合でしたが、皆様集まりよく、07:55に東京・鍛冶橋駐車場を出発しました。

都心発のツアーであれば、目的地方面に進路を取るまでの車窓も大事。アップダウンのある首都高からの眺めにも注目です。中央道はやや渋滞気味。案内人は車窓を追いながら、バス内での話題の例や、日頃どんなことを考えながら富士山ツアーを進めているのかなど、経験を共有していきます。天候や交通事情を考えて回り順を判断したり、お客様の期待と向き合ったり、富士山ツアーはガイドの鍛錬の場のようなようです……。

曇り空で富士山も見えてこない移動は、お客様の期待や心理を体験する機会になったでしょうか。河口湖インター手前、富士山が大きく見えるポイントで、ようやく雲の下に裾野が見えました。同じ風景を見ても、「見えた」と思う人あり、「見えない」と思う人あり。



富士山世界遺産センター(山梨県立)に立ち寄り、北館で映像を見る際の受け付け、2階の展望所、ショップ、トイレなどを確認。高速道路から近い富士山の写真スポットでもあり、悪天候時や時間調整、さまざまな展示の見学など色々な利用の仕方ができます。時間がある訪問者には、南館の富士信仰の旅を体験するVRも人気です。

富士スバルラインでは、植生や眺めの変化を見つつ、一合目下駐車場、四合目大沢駐車場、奥庭駐車場、五合目手前2キロのポイントで一時的停車または下車して、山頂の方向と見え方を中心に確認しました。今日は人も車も少なく渋滞知らずですが、冬場は一合目下や大沢駐車場までしか行けないことも多く、手前でひどい渋滞が起きることも。どこまで行けるかによって、何を目的とするのか、案内の仕方にも工夫がいきます。

どんよりと曇った一合目では山頂方向も真っ白だったのが、しだいに明るい青空へ。雲をぬけて、周辺の山並が見え、バスの窓から見上げればようやく山頂が！歓声が上がります。大沢駐車場では山頂と山麓、雲間の南アルプス連峰などを皆さん熱心に確認。「今日は上がれば見えるかも」と言っていた案内人もにっこり。



さらに五合目手前 2 キロのポイントで停車。迫力ある山頂に思わずドライバーさんもカメラを向けていました。(夏場はバスの臨時駐車場となって停められないこともあります。) 上着をもってきたのに、強い日射しが暑いくらい。四合目や五合目手前で視界が良くても、五合目では天気が悪いこともよくあると案内人は言いますが…

果たして五合目は雨の中の下見となりました。気温もぐっと下がり上着の出番です。バス、ハイヤーの乗降場所と五合目での過ごし方、山頂の方向と写真スポット、小御嶽神社、トイレ、売店、登山道入口などを下見する間、雨足の強さも風もよく変わり、山の天気を実感。それでも今日は山頂がうっすらと見えます。ラッキーと思うか、残念と思うか。富士山ツアーの色々な場面を考えさせる下見となりました。

河口湖では 2 箇所を訪問。船津では、河口湖遊覧船「天晴(あっぱれ)」、「～河口湖～富士山パノラマロープウェイ」の乗り場や、食事場所などを下見する時間をとりました。富士山と河口湖+花の写真スポットである大石公園は今日も大にぎわい。富士山の絶景を想像しながら、山梨ならではの果物販売やカフェ、売店などをチェックしました。湖畔を走行する間も、周辺のスポットや食事場所、桜と紅葉のイベント情報とともに、富士山はどこからどう見えるのかに話が及びます。

「行ったことがないので行きたい」という声が多いスポットの一つ、新倉山浅間公園。バスの乗降場所となる下吉田駅から浅間神社までは道順の案内があちこちにあり、途中には飲み物やアイス、軽食の販売所もできています。旅行者も多く、迷わず行けそうです。境内入り口から社殿までは階段。そこからでも富士山が見えますが、「富士山と忠霊塔」の写真スポットには、さらに 398 段の「さくや」階段または急な坂道。どちらもなかなか大変です。上がるだけでも一苦勞ですが、混雑する時には展望テラスが入場待ちになり、階段も行列になるそう。



趣ある富士吉田の町を通過、忍野八海へ。

観光客で賑わう中、無料の駐車場から中心部を通過して観光案内所まで歩いて下見しました。



焼き草餅や団子も「下見」。

富士山が見えなくても、美しい村の風景は訪日客に人気で、雨がパラパラと降る中、湧水はもちろん、小川沿いの小径などで記念写真を撮る姿を多く見かけました。



忍野から東富士五湖道に出て、箱根への移動ルートを走ります。見えればススキと富士山の景色、北富士演習場。籠坂トンネルをぬけ、須走から先は 2021 年に開通した新しい区間を走り、御殿場へ。富士山を背に回ります。



公共交通機関では下見がしにくい御殿場の平和公園へ。新倉山浅間公園と同様、日本的な建築と富士山が撮れる写真スポット。山頂は見えないものの、河口湖からとは違う富士山の姿が見えました。仏舎利塔でも知られ、公園としても美しく、特に桜のシーズンには大人気・大混雑です。

乙女峠へ向かって登りはじめたところでもう一箇所、乙女駐車場にも立ち寄りました。

乙女トンネルで外輪山を超えて箱根の「カルデラ」内へ。ススキの仙石原を車窓にした後は、あっという間に暗くなってきた国道 138 号線・1 号線で小田原駅へ。18:16 小田原駅新幹線口に到着、解散しました。

参加者からは、「他の参加者との情報交換もでき、仲間作りにもなった」「忙しかったが、行きたかった場所をすべて回れた」「車窓を確認できた」「案内人の実践例が参考になった」「何度も行った場所でも発見があった」「下見でチェックすべきポイントが分かった」などの感想が寄せられました。